

8月の できごと

富士市のトビウオ集まる



第43回富士市民水泳競技大会
8月2日 県富士水泳場
小学4年生以下の部から70歳以上の部まで、幅広い年齢層で行われた市民水泳競技大会。自由形や平泳ぎ、バタフライなど120種目、約350人が競いました。選手たちは、日ごろから学校やスイミングクラブの練習で鍛えた成果を、存分に発揮していました。

期待される 産業振興

富士山フロント工業団地 造成工事竣工式

8月27日 大淵

市や市内の金融機関が中心となって設立した富士総合開発株式会社が、大淵の城山に造成を進めていた、面積42・57ヘクタール、17区画の工業団地の工事が完了し、竣工式が行われました。

この地域は地下水が豊富で、東名高速道路富士インターチェンジから5キロメートルとアクセスにもすぐれ、今後さらなる産業振興が期待されます。

踊る！老若男女



第23回ふじかわ夏まつり 8月1日 富士川河川敷憩いの 広場

ことしで23回目を迎えたふじかわ夏まつり。会場では、「炭坑節」や「まんまる音頭」などに合わせて、老いも若きも男も女も一緒になって踊る姿が見られました。

また、会場を囲むように設置された夜店市からは、焼きそばや焼き鳥、フランクフルトなどを調理する香りが漂い、来場者の食欲を刺激していました。

伝える 戦争の現実と悲劇



第22回平和のための富士 戦争展

8月11〜16日 ロゼシアター

戦争展に展示された数々の遺品は、市内の多くの若者たちが戦場に赴き命を落とした傷跡です。来場者は、それらが伝える戦争の現実と悲劇に、目をそむけることなく見つめていました。

また、戦争と平和をテーマにした絵本や紙芝居による読み聞かせなども行われ、来場者の心に恒久平和を訴えかけました。

